

うみかぜ 海風

御前崎港管理事務所だより 79号 (H27. 10)



客船「にっぽん丸」



帆船「海王丸」

海岸現地調査の実施

10月1日(木)御前崎港マリンパークの堆積砂対策、相良港海岸の津波対策や榛原港海岸の砂利浜化対策等を検討するため、独立行政法人港湾空港技術研究所による現地調査が行われました。

今回、港湾空港技術研究所より頂いた意見を参考により良い海岸づくりに努めてまいります。



↑今後、津波対策を予定している相良港海岸(須々木地区)の現地調査の様子

←砂利浜化対策の経過観察中の榛原港海岸(静波海水浴場)

10月1日(木)静岡市立川原小学校5年生85名の皆さんのが御前崎港の西埠頭と相良港の陸閘の閉鎖動作を見学しました。

当日はあいにくの天気となっていましたが、子供たちはスライドを使った職員の説明に耳を傾け、自動車やコンテナが御前崎港から輸出され、世界とつながっていることを学びました。

御前崎港見学



全体説明



陸閘の見学



↑スライドによる全体説明

←西埠頭岸壁から自動車運搬船の見学

←相良2号陸閘の遠隔操作による閉鎖動作の見学

予告:御前崎マリンパークマラソン

今年も、11月29日(土)に第5回御前崎マリンパークマラソンが開催されます。このマラソン大会は、小学1年生から部門設定があり、ファミリーで気軽に参加できる大会となっております。御前崎港の“海風”を感じながら、さわやかな秋の1日を過ごしてみてはいかがでしょうか。

問合先:御前崎市体育協会事務局 0548-63-1129 ペリット:10月30日



エコパーク便り

エコパークは御前崎エコクラブと協働で維持管理を行っている御前崎港の港湾緑地です。

マングローブ

曼珠沙華の花(赤、白)が開花しました



ヒガンバナ科 ヒガンバナ属 生長(成長)サイクル

秋…1日10cm近く茎が伸びて、50cm位になると、花を咲かせます。花や茎が枯れると、球根から葉っぱができます。

冬…葉っぱのまま冬を超します。

春…光合成をして球根に栄養をためます。

夏…葉が枯れ、休眠期に入ります。

また秋…秋雨を含んで再び花が咲きます。

別名が多々あり、その一つに「葉見ず花みず」があります。成長過程をたどるとピッタリの名前ですね。

テーブルを設置しました



エコクラブの皆さん
が、建築廃材を再利用
し、園内に新しいテ
ーブルを設置しました。
ご来園して頂いた皆
さんの「いこいの場
所」になれば良いと思
います。

御前崎港の見学を御希望の方は、お気軽に管理事務所まで御連絡ください。皆様のお越しをお待ちしております。

連絡先:御前崎港管理事務所企画振興課 〒437-1623 御前崎市港6129-1

電話:0548-63-3213 FAX:0548-63-2173 メールアドレス:omaezaki-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページ: <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/omaezaki>



New Public Engineering for SHIZUOKA

いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県交通基盤部

うみかぜ 海風



内航定期RORO船「むさし丸」

御前崎港管理事務所だより 80号 (H27. 11)

新造船 遠洋カツオ一本釣漁船
「第百十一日光丸」寄港

「御前崎港セミナー」の開催

10月20日(火)御前崎港ポートセールス実行委員会主催により、グランドホテル浜松において『御前崎港セミナー』を開催し、県内外の荷主企業・船会社など約200名の参加者に対し、国際物流拠点である御前崎港の利用促進を働きかけました。セミナーでは「御前崎港の将来性」と題し、東海大学海洋学部主任教授の篠原正人氏による講演が行われ、御前崎港の新たな可能性について様々なご意見をいただきました。

セミナー後には実行委員長である川勝平太静岡県知事、荷主企業代表としてスズキ(株)の鈴木修会長兼CEOも参加し、交流会を開催しました。これからも皆様に御前崎港を利用していくだけるよう努力してまいります。

セミナーの様子



川勝知事と鈴木修会長

小学生が御前崎港を見学！

11月2日(月)牧之原市立坂部小学校、11月6日(金)磐田市立豊田南小学校、11月16日(月)掛川市立曾我小学校、11月17日(火)袋井市立袋井南小学校の5年生のみなさんが社会科授業の一環として御前崎港を見学しました。

児童たちは自動車運搬船やコンテナクレーンを間近で見学し、御前崎港が世界とつながっていることを学びました。



自動車運搬船の現地見学
御前崎港の輸出をプロジェクターにより学習



エコパーク便り

エコパークは御前崎エコクラブと協働で維持管理を行っている御前崎港の港湾緑地です。

市内の園児が体験学習を行いました。



10月16日～21日に市内の園児220余名がエコパークでどんぐり拾い等の体験学習を行いました。貝殻の中の水苔に多肉植物を植え、お土産に持ち帰りました。当日は、好天に恵まれ秋の一日を満喫しました。また、当日の体験学習の様子が静岡新聞に掲載されました。

展示小屋外観



展示小屋が完成しました



室内には、貝殻・松の実、園内の花のパネル等を展示しております。エコパークにお越しの際には、ぜひ、お立ち寄りください。

御前崎港の見学を御希望の方は、お気軽に管理事務所まで御連絡ください。皆様のお越しをお待ちしております。

連絡先:御前崎港管理事務所企画振興課 〒437-1623 御前崎市港6129-1

電話:0548-63-3213 FAX:0548-63-2173 メールアドレス:omaezaki-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページ :<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/omaezaki>



New Public Engineering for SHIZUOKA

いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県交通基盤部

うみかぜ 海風

御前崎港管理事務所だより 81号 (H27.12)

御前崎港内カモメの群れ

御前崎エコパーク

大産業まつり&産業フェア開催

11月21・22日(土・日)御前崎市役所周辺で「第10回御前崎市大産業まつり」、11月22日(日)に牧之原市役所相良庁舎で「まきのはら産業フェア2015」が開催されました。御前崎港振興会及びポートセールス実行委員会では、パンフレットやグッズの配布などを行い、御前崎港のPRをしました。



大型カツオ一本釣漁船の寄港

11月27・28日(金・土)御前崎港中央埠頭で国内最大級の遠洋カツオ一本釣漁船「第百十一日光丸」がお披露目されました。日光丸は、大型化により年間水揚げ量を確保しながら航海数を減らし、燃油消費量の削減と乗組員の休日増加を図る目的で建造されました。28日(土)に行われた一般公開には、多くの人が訪れました。

第百十一日光丸



御前崎マリンパークマラソン開催

11月29日(日)に港湾緑地のマリンパーク御前崎で、御前崎市体育協会主催のマラソン大会が開催され、小学1年生から大人まで581人が各部門に分かれ、晩秋のみなとを疾走しました。



小学生1・2年生男女の部、スタートから

エコパーク便り

焼き芋大会を開催しました

11月15日(日)、朝降っていた雨も上がり、会員他、様々な年代の方々が30名ほど集まりました。皆さんは、アツアツの出来上がったお芋を頬張り、楽しい1日になりました。



エコパークは御前崎エコクラブと協働で維持管理を行っている御前崎港の港湾緑地です。

御前崎市大産業まつりに参加しました

11月21, 22日の両日、大産業まつりに参加し、体験学習として貝殻に多肉植物を植え込み、お土産としてお配りいたしました。また、ブース内ではエコパークでの活動のパネルを展示し、理解を広げました。



御前崎港の見学を御希望の方は、お気軽に管理事務所まで御連絡ください。皆様のお越しをお待ちしております。

連絡先:御前崎港管理事務所企画振興課 〒437-1623 御前崎市港6129-1

電話:0548-63-3213 FAX:0548-63-2173 メールアドレス:omaezaki-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページ: <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/omaezaki>



New Public Engineering for SHIZUOKA

いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県交通基盤部

うみかぜ 海風

御前崎港管理事務所だより 82号 (H28.1)

御前崎港内カモメの大群

御前崎丸ライトアップ

新春の生花

1月5日(火)、御前崎エコクラブの山本会長より、生花が寄贈されました。縁起が良い、南天、万両、梅、ユズリハ、ツルウメモドキの5種をきれいに飾っていただき、新春にふさわしい玄関となりました。

右は進藤所長、左はエコクラブ山本会長、



みなとBCP講演会

1月15日(金)に、静岡市の清水マリンビルでみなとBCP(機能継続計画)講演会が開催され、関係者約150名が聴講しました。講師は、東日本大震災で岩手県釜石港の復旧業務を行った、岩手県職員の守谷康統括主査で、被災後の初動対応の説明をしていただきました。今後のBCPの検討を行う上で、とても参考になりました。



港湾建設工事安全協議会による港内清掃

1月20日(水)、御前崎港西埠頭で港湾建設工事安全協議会による港内清掃が行われ、強風が吹く中、建設会社等約50名が参加しました。散乱していたゴミが除去され、きれいになりました。



エコパーク便り

12月末にインドネシアのカツオ1本釣りの青年研修生13名と会員で、草取り、花の苗の植栽を行いました。昨年植えたマツバギクが見事に咲いたように、今年も新しい花が顔をのぞかせてくれるでしょう。この活動も3年目を迎え、少しずつ国際交流として広がりを見せています。

ボランティア活動後、会長の自宅でお抹茶でおもてなしをしました。研修生と日本文化で交流でき、楽しいひとときとなりました。

インドネシアの青年たちと国際交流



↑エコパークで、マツバギクの植栽を行いました。

エコパークは御前崎エコクラブと協働で維持管理を行っている御前崎港の港湾緑地です。



↑お茶室で、抹茶によるおもてなし。足がしびれて大変そうでした。

御前崎港の見学を御希望の方は、お気軽に管理事務所まで御連絡ください。皆様のお越しをお待ちしております。

連絡先:御前崎港管理事務所企画振興課 〒437-1623 御前崎市港6129-1

電話:0548-63-3213 FAX:0548-63-2173 メールアドレス:omaezaki-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページ: <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/omaezaki>



New Public Engineering for SHIZUOKA

いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県交通基盤部

うみかぜ 海風

御前崎港管理事務所だより 83号 (H28. 2)

エコパーク カワヅザクラ



県外港湾視察

1月25・26日(月・火)、御前崎港ポートセールス実行委員会は、愛知県の三河港、名古屋港及び三重県の四日市港へ県外港湾視察を行いました。視察には御前崎市長をはじめとして静岡県、御前崎市、牧之原市職員や荷役会社など御前崎港関係者約20名が参加しました。他県の港湾施設の整備やポートセールス活動、インセンティブ等の取り組みを参考に、御前崎港の利用促進が図れるよう努力して参ります。



四日市港

西埠頭ガントリークレーン

工事現場見学会開催

1月27日(水)に、御前崎港の西埠頭において魚礁設置工事の現場見学会を開催しました。

当日は県職員23名が参加し、あまり見る機会がない魚礁とあって、多くの質問がありました。工事は3月中旬の完成を予定しております。今後も技術力の向上に勤めて参ります。



ピラミッド型魚礁



スリースターリーフ魚礁

協働事例発表会in静岡

県内で社会資本に関する協働活動を行っている学生、市民団体、NPOなどが参加する発表会が2月6日(土)静岡労政会館にて開催され、御前崎エコクラブが出展参加し、他団体と情報交換を行い交流を深めました。エコクラブの活動の良いPRの場となりました。



↑エコクラブの活動を説明する山本会長(左)

海上保安署長感謝状

1月4日(月)に小型船が転覆し3人が漂流した事故で、ソーラスの警備業務を行っていたセーフティーガード㈱の吉村さんと増田さん、連絡を受けた当所の山田主査が協力し人命救助に当たりました。1月29日(金)には、3人の迅速で的確な救助行動を称え、御前崎海上保安署長より感謝状が授与されました。



←左からセーフティーガード㈱の吉村さん、増田さん、当所の山田主査

エコパーク便り

エコパークは御前崎エコクラブと協働で維持管理を行っている御前崎港の港湾緑地です。7000坪の敷地には、約400種類の花や木が植栽されており、1年を通して草花が楽しめます。

たくわん漬けの実施

毎年恒例のたくわん漬けを行いました。エコパーク会員の皆さん、手慣れた手つきで作業を行い、数個の樽がいっぱいになりました。数日後には、おいしいたくわんができました。



春が来ました

園内では、白梅、紅梅・八重桃梅がほころび始め、寒い中、かわいい花を咲かせています。その花姿は凜としてどこか気品を感じます。また、水仙、オキザリスも咲き始めたので、一足早い春を楽しみにお出かけください。



御前崎港の見学を御希望の方は、お気軽に管理事務所まで御連絡ください。皆様のお越しをお待ちしております。

連絡先:御前崎港管理事務所企画振興課 〒437-1623 御前崎市港6129-1

電話:0548-63-3213 FAX:0548-63-2173 メールアドレス:omaezaki-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページ: <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/omaezaki>



New Public Engineering for SHIZUOKA

いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県交通基盤部

うみかぜ 海風

御前崎港管理事務所だより 84号 (H28. 3)

エコパーク カワヅザクラ



西埠頭 津波救命艇

御前崎港の整備状況

津波による被害を防ぐため、御前崎港中央埠頭では防潮堤の整備を進めています。平成27年度には新たに152mが完成し、御前崎港の防潮堤の総延長は3,406mとなりました。

今後も県民の皆様の安全確保のため、一層の整備促進を図ってまいります。



静波海岸の整備状況

今年度、牧之原市の静波海岸で避難路の整備工事を行いました。この工事では、堤防背後に盛土を行い段差を解消し、津波発生時の陸側への避難の円滑化を図りました。

エコクラブと意見交換会

2月29日(月)御前崎エコクラブの皆さんにエコパークの公園管理活動を通して感じていることや要望等について意見を伺いました。課題点としては、公園の雨水の排水不良、雑草の繁茂、案内看板の老朽化などが挙げられました。この内、案内看板の老朽化については、3月22日に改修しました。

今後もエコクラブの皆さんと協働による維持管理を推進し、地元市民に愛される公園を目指していきます。



エコパーク便り

柵を設置しました

公園と北側の道路との境に(港湾道路)安全柵を設置しました。

この柵は、不要となった木のパレットを再利用しています。まさにエコパークといえます。



エコパークは御前崎エコクラブと協働で維持管理を行っている御前崎港の港湾緑地です。7000坪の敷地には、約400種類の花や木が植栽されており、1年を通して草花が楽しめます。

桜が開花しました

カワヅ桜、タイリヨウ桜が咲きました。ヤマザクラ、ソメイヨシノ等の桜も徐々に蕾が膨らみ始め、少しづつ開花しています。またこれから本格的な春に向かい、色とりどりのマツバギク、アセビ、コデマリ等も咲き公園が花いっぱいになることでしょう。是非、7000坪の手づくり公園に心癒しに来てください。

御前崎港の見学を御希望の方は、お気軽に管理事務所まで御連絡ください。皆様のお越しをお待ちしております。

連絡先:御前崎港管理事務所企画振興課 〒437-1623 御前崎市港6129-1

電話:0548-63-3213 FAX:0548-63-2173 メールアドレス:omaezaki-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページ: <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/omaezaki>



New Public Engineering for SHIZUOKA

いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県交通基盤部